

令和6年度 一般会計予算

消防本部 主要事業説明資料

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部		
	項	01 消防費	9,437千円		8,706千円		731千円		10,915千円					
	目	01 常備消防費												
	事業	02 消防本部総務業務	国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源	
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実												9,437	
目的・趣旨	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。		主な財源											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ○旅費 500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等 ○交際費 50千円 <ul style="list-style-type: none"> ・消防長交際費 ○需用費 3,876千円 <ul style="list-style-type: none"> ・事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具購入等 ○役務費 2,093千円 <ul style="list-style-type: none"> ・電話料金、郵便料金等 1,539千円 ・筆耕翻訳料 2千円 ・仮眠寝具クリーニング代、各種申請手数料等 408千円 ・各種保険料（ドローン・救命ボート） 144千円 ○委託料 1,076千円 <ul style="list-style-type: none"> ・B型肝炎予防接種、健康診断委託料等 		<ul style="list-style-type: none"> ○使用料及び賃借料 457千円 <ul style="list-style-type: none"> ・コピー機借上料、有料道路通行料等 ○備品購入費 990千円 <ul style="list-style-type: none"> ・防火服（3着） ○負担金 395千円 <ul style="list-style-type: none"> ・全国消防長会会費、全国消防協会会費等 											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部															
	項	01 消防費	3,356千円	1,460千円	1,896千円	3,607千円		課	総務課														
	目	01 常備消防費					国庫支出金		府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源										
	事業	03 救急救命士養成業務																					
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							3,356															
目的・趣旨	<p>医師の指示の下、救急車内等で処置ができる救急救命士を計画的に養成するとともに、気管挿管及びビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管内チューブによる高度な気道確保が可能な認定救命士を養成し、救命率の向上を図る。</p> <p>また、救急救命士病院研修の実施、病院前救護の質の向上を目的とした指導救命士の養成を行う。</p>		主な財源																				
事業概要	<p>○救急救命士養成派遣に伴う経費等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅費 300千円 ・救急救命士養成派遣負担金 2,106千円 <p>○委託料 560千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士病院研修委託料 <p>○負担金 390千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気管挿管実習負担金 300千円 ・ビデオ硬性喉頭鏡病院実習負担金 90千円 		【令和6年度養成計画】	<ul style="list-style-type: none"> ・救急救命士：1人 ・気管挿管認定救命士：1人 ・気管挿管（ビデオ硬性喉頭鏡）認定救命士：3人 ・病院研修：28人（対象者：運用救急救命士等） <p>【救急救命士認定・運用状況】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>有資格者数</th> <th colspan="2">（うち運用数）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>32人</td> <td>(26人)</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与</td> <td>31人</td> <td>(26人)</td> </tr> <tr> <td>処置拡大</td> <td>30人</td> <td>(26人)</td> </tr> <tr> <td>気管挿管</td> <td>17人</td> <td>(13人)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和6年1月末現在</p>					有資格者数	（うち運用数）			32人	(26人)	薬剤投与	31人	(26人)	処置拡大	30人	(26人)	気管挿管	17人	(13人)
有資格者数	（うち運用数）																						
	32人	(26人)																					
薬剤投与	31人	(26人)																					
処置拡大	30人	(26人)																					
気管挿管	17人	(13人)																					

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部	
	項	01 消防費	2,612千円		4,053千円		△ 1,441千円		3,955千円		課	総務課	
	目	01 常備消防費											
	事業	04 消防学校等研修派遣業務	国庫支出金		府支出金		市債		繰入金		その他		一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実												2,612
目的・趣旨	複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。		主な財源										
事業概要	○旅費 ・府立消防学校専科等研修、研究会等 ・各種資格取得、講習会 ○委託料 ・バス運転委託料 ○使用料及び賃借料 ・有料道路通行料 ・駐車場使用料		999千円 840千円 159千円 69千円 109千円 97千円 12千円		○負担金、補助及び交付金 ・府立消防学校専科等研修、各種講習会等受講負担金 府立消防学校総合教育派遣 2人 府立消防学校等各種専科（救助科、警防科等）教育派遣 10人 予防技術検定受験料 2人 潜水土受験料 1人 玉掛け、小型移動式クレーン資格取得 2人 無線従事者養成 1人 潜水技術研修派遣 1人 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能 1人 フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会 2人 伐採等業務従事者特別教育 2人 テールゲートリフター特別教育講習会 2人 ・大型自動車免許取得補助金（1人分、補助率1/3） 90千円								

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	3,490千円		4,748千円		△ 1,258千円		4,330千円		課	総務課
	目	01 常備消防費										
	事業	05 予防・警防等業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						671	2,819				
目的・趣旨	<p>各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、防火チラシ・ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。</p> <p>また、複雑多様化する各種災害における、迅速かつ確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。</p>		主な財源	手数料	消防手数料						509	
				諸収入	防火管理者資格取得講習料						162	
事業概要	○予防関係経費		559千円	○警防関係経費		2,931千円						
	<ul style="list-style-type: none"> 防火ポスター記念品代等 防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費 住宅用火災警報器チラシ、防火ポスター印刷費 通信運搬費（郵便代） 原材料費（火災予防工作物等） 		<ul style="list-style-type: none"> 9千円 304千円 95千円 63千円 88千円 	<ul style="list-style-type: none"> 消耗品費（乾電池、備蓄食料等） 修繕料（消防機械器具、水難救助備品等） 手数料 （高圧ガス容器検査手数料、船舶検査手数料等） ヘリポート除草作業委託料 訓練用車両借上料 救助活動関係備品購入費（水難救助潜水用具） ヘリポート航空用灯火負担金 		<ul style="list-style-type: none"> 591千円 681千円 544千円 702千円 30千円 381千円 2千円 						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	8,723千円	11,027千円	△ 2,304千円	17,020千円	課	総務課
	目	01 常備消防費						
	事業	06 救急活動業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						30	8,693

目的・趣旨	救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。 また、救命指示センターの医師と連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に努める。	主な財源	諸収入	救急救命士臨地実習負担金	30

事業概要	○救急管外搬送旅費	51千円	○負担金	954千円
	○需用費	4,937千円	・救急安心センターきょうと運営協議会負担金	834千円
	・救急活動消耗品費（感染防止衣等）	4,749千円	・丹後メディカルコントロール協議会負担金	120千円
	・印刷製本費（救急患者搬送連絡票）	44千円		
	・救急活動備品修繕料	100千円		
	・医薬材料費	44千円		
	○役務費	935千円		
	・毛布クリーニング代、医療産廃処理手数料等	822千円		
	・救急救命士賠償・救急業務賠償責任保険	113千円		
	○委託料	1,846千円		
	・京都市救命指示センター委託料	1,461千円		
	・高度救急医療資機材点検保守委託料	385千円		

【救急出動件数】		
年次	件数	前年比
令和5年	2,946件	81件（2.8%）
令和4年	2,865件	392件（15.9%）
令和3年	2,473件	41件（1.7%）

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	14,776千円		105,268千円		△ 90,492千円		182,394千円			
	目	01 常備消防費										
	事業	07 通信指令業務	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実							21	14,755			
目的・趣旨	<p>365日24時間体制で火災、救急及び救助等の緊急通報を受け付け、出動指令を行う京都府中・北部地域消防指令センターの安定的な運営を図り、市民の安全・安心を確保する。</p> <p>消防指令センターと緊密に連携する指令伝送ネットワーク及び消防救急デジタル無線等を円滑かつ確実に運用できるよう維持管理を行い、各種災害に対応する。</p>		主な財源	諸収入 西山中継局電源設備利用負担金 21								
事業概要	○需用費		1,728千円		○負担金		1,872千円					
	<ul style="list-style-type: none"> 指令書出力プリンタートナー等消耗品費 700千円 通信指令施設関係修理、発動発電機始動用バッテリー 1,028千円 				<ul style="list-style-type: none"> 消防救急デジタル無線基地局電気代負担金 180千円 京都府中・北部地域消防指令事務協議会負担金 1,692千円 							
事業概要	○役務費		6,601千円									
	<ul style="list-style-type: none"> NTT専用回線料等 5,801千円 消防無線法定検査委託料 800千円 											
事業概要	○委託料		4,575千円									
	<ul style="list-style-type: none"> Live119システム運用委託料 693千円 自家用電気工作物保安管理委託料 155千円 通信指令施設等保守管理委託料 3,067千円 消防用気象情報収集装置再検定委託料 660千円 											

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部	
	項	01 消防費	23,952千円	22,032千円	1,920千円	21,892千円	課	総務課	
	目	01 常備消防費							
	事業	08 庁舎等維持管理事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						388	23,564	
目的・趣旨	災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等維持管理を行う。		主な財源	使用料	公有財産使用料				388
事業概要	消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所）				○車両関係経費		10,254千円		
	消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台）				・燃料費（ガソリン、軽油等）		5,537千円		
	○消防庁舎関係経費		13,698千円		・車検整備、修繕料		3,806千円		
	・消耗品費（清掃用品、蛍光管等）		400千円		・自動車登録手数料（11台）		267千円		
	・燃料費（灯油、LPガス）		1,744千円		・タイヤ処分手数料		28千円		
	・光熱水費（上下水道料金、電気料金）		8,951千円		・自賠責保険料		93千円		
	・修繕料（空調機器、照明器具取替等）		523千円		・自動車重量税（11台）		523千円		
	・ごみ持込処理手数料		36千円						
	・委託料（自家用電気工作物、消防設備保守点検等）		622千円						
	・清掃用具借上料		194千円						
	・工事請負費（本署講堂空調設備更新2台）		1,228千円						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	106,385千円	91,357千円	15,028千円	88,780千円		
	目	02 非常備消防費						
	事業	01 団員報酬						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
			106,385					

目的・趣旨	消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。	主な財源
-------	-------------------------	------

事業概要	○消防団員報酬（団員数1,558人 ※R6.4.1見込み）	59,863千円	階級	年額	人員	金額
	○出勤報酬	46,522千円	団長	189,000円	1人	189,000円
	・災害	12,000千円	副団長	123,000円	3人	369,000円
	3時間以内の活動：3,000円/回		方面隊長	123,000円	6人	738,000円
	3時間超5時間以内の活動：5,000円/回		副方面隊長	96,000円	6人	576,000円
	5時間超の活動：8,000円/回		分団長	96,000円	25人	2,400,000円
	・訓練又は警戒：2,000円/回	34,522千円	副分団長	57,000円	25人	1,425,000円
			指導員	57,000円	25人	1,425,000円
			部長	43,000円	69人	2,967,000円
			班長	40,000円	146人	5,840,000円
			団員	36,500円	1,196人	43,654,000円
			支援団員	5,000円	56人	280,000円
			合計		1,558人	59,863,000円

※条例定数：1,730人

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 3,816千円	前年度予算額 3,816千円	増減額 0千円	参考R4決算額 3,872千円	部 消防本部																	
	項	01 消防費																						
	目	02 非常備消防費																						
	事業	02 公務災害補償費等																						
課			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実						300	3,516																
目的・趣旨	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員や住民参加の防火防災訓練に対し、公務上の災害又は訓練の際に発生した事故に損害賠償や災害補償を行う。		主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金 300																				
事業概要	○災害補償費（公務災害補償） 消防団員や地域住民が災害現場で活動中に負傷した場合、市消防団員等公務災害補償条例に基づき治療費等を支給		300千円	○負担金 3,516千円 ・消防団員等公務災害補償等共済掛金 3,466千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が、公務上と認められた場合に補償を行うための掛金																				
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>人数</th> <th>1人当たり掛金</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団員</td> <td>1,730人</td> <td>1,900円</td> <td>3,287千円</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>50,860人</td> <td>3.5円</td> <td>179千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>3,466千円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	人数	1人当たり掛金	金額	団員	1,730人	1,900円	3,287千円	市民	50,860人	3.5円	179千円	合計			3,466千円
区分	人数	1人当たり掛金	金額																					
団員	1,730人	1,900円	3,287千円																					
市民	50,860人	3.5円	179千円																					
合計			3,466千円																					
				※団員数：令和5年10月1日現在の条例定数、人口：R2国勢調査人口 ・防火防災訓練災害補償等共済掛金 50千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対して、補償を行うための掛金																				

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部	
	項	01 消防費	33,216千円	33,216千円	0千円	78,487千円	課	総務課	
	目	02 非常備消防費							
	事業	03 団員退職報償金							
総合計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源	33,216	
目的・趣旨	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。		主な財源						
事業概要	○消防団員退職報償金掛金 条約定数 1,730人 × 19,200円 = 33,216千円 (令和5年10月1日現在)		33,216千円						

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部	
	項	01 消防費	62,676千円	60,148千円	2,528千円	79,110千円	課	総務課					
	目	02 非常備消防費											
	事業	04 消防団活動運営事業					国庫支出金		府支出金		市債		繰入金
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		341									62,335	
目的・趣旨	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。		国補	消防団設備整備費補助金								341	
				主な財源									
事業概要	○報償費		31,749千円	○委託料		419千円							
	<ul style="list-style-type: none"> 消防団運営活動謝金（団員数1,558人 ※R6.4.1見込み） 31,383千円 本部、方面隊、分団、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊、支援隊 報償物品（表彰状、表彰徽章） 366千円 			<ul style="list-style-type: none"> 会場設営委託料（市操法大会） 330千円 機器保守点検委託料（AED27台） 89千円 									
○旅費		4,893千円	○使用料及び賃借料		1,356千円								
<ul style="list-style-type: none"> 京都府消防大会、団幹部視察研修等 			<ul style="list-style-type: none"> 大型バス借上（消防学校入校等）、有料道路通行料 1,129千円 会場使用料（出初式） 120千円 土地借上料（消防車庫用地、防火水槽用地） 107千円 										
○需用費		19,955千円	○負担金、補助及び交付金		514千円								
<ul style="list-style-type: none"> 活動服（62着） 1,023千円 編上靴、水利標識板、安全管理装備等消耗品 3,052千円 消防自動車燃料費、修繕料（83台） 12,950千円 光熱水費（消防車庫等施設） 2,816千円 印刷製本費（「火の用心」ステッカー） 114千円 			<ul style="list-style-type: none"> 京都府消防協会支部負担金 255千円 準中型免許等取得補助金（2人、補助率2/3） 259千円 										
○役務費		1,993千円	○公課費（自動車重量税）		1,797千円								
<ul style="list-style-type: none"> 筆耕料（定例表彰等） 75千円 手数料（ごみ処理、消防ポンプ点検等） 1,581千円 保険料（自賠償保険） 337千円 													

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 19,458千円	前年度予算額 19,464千円	増減額 △ 6千円	参考R4決算額 19,464千円	部 消防本部		
	項	01 消防費							
	目	02 非常備消防費							
	事業	05 消防設備維持管理事業							
課			国庫支出金		府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実								19,458

目的・趣旨	<p>消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて水道事業会計へ繰り出す。</p>	主な財源
-------	--	------

事業概要	○水道事業会計繰出金 3,243基×6,000円/基 19,458千円	
	【消火栓設置数】	
	峰 山 町	459基
	大 宮 町	499基
	網 野 町	604基
	丹 後 町	377基
	弥 栄 町	353基
	久 美 浜 町	951基
合 計	3,243基	

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額	前年度予算額	増減額	参考R4決算額	部	消防本部
	項	01 消防費	6,439千円	4,916千円	1,523千円	91,764千円	課	総務課
	目	03 消防施設費						
	事業	01 常備消防施設等整備事業		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実				6,300			139
目的・趣旨	災害発生時に迅速かつ的確に対応するとともに、地域住民の安全・安心の確保を図るため、老朽化した指令広報車を更新整備する。		主な財源	市債 消防自動車整備事業債（過疎対策債）				6,300
事業概要	<p>【指令広報車の更新整備】</p> <p>配備先：網野分署 ※22年経過</p> <p>○役務費 89千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車登録手数料、自動車リサイクル料 81千円 ・自動車賠償責任保険 8千円 <p>○備品購入費 6,300千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指令広報車 1台 <p>○公課費 50千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車重量税 							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額		前年度予算額		増減額		参考R4決算額		部	消防本部
	項	01 消防費	76,942千円		31,436千円		45,506千円		51,288千円			課
	目	03 消防施設費										
	事業	02 非常備消防施設等整備事業	国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源				
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実			5,500	69,500							1,942
目的・趣旨	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。 また、消防団車両を格納するための消防車庫を更新整備する。	主な財源	府補	地域防災力総合支援事業補助金							5,500	
			市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）							38,000	
			市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）							31,500	
事業概要	【消防車両等整備】 43,709千円 峰山第5分団第1部（丹波） ※26年経過 網野第2分団第1部（北大路） ※23年経過 ○役務費 105千円 ・自動車登録手数料、自動車リサイクル料 89千円 ・自動車賠償責任保険 16千円 ○備品購入費 43,530千円 ・多機能型ポンプ自動車 1台 峰山第5分団第1部（丹波） ・多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 網野第2分団第1部（北大路） ○公課費 74千円 ・自動車重量税	【消防車庫等整備】 33,233千円 掛津消防車庫（網野第1分団第2部） 整備場所：網野町掛津地内 構造・面積：鉄骨造平屋建・約33㎡ ○役務費 6千円 ・水道開栓手数料、水道工事検査手数料、設計審査手数料 3千円 ・建物損害共済分担金 3千円 ○委託料 800千円 ・工事監理委託料 ○工事請負費 32,380千円 ○負担金、補助金及び交付金 47千円 ・水道加入負担金										

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 15,200千円	前年度予算額 32,000千円	増減額 △ 16,800千円	参考R4決算額 29,226千円	部 消防本部	課 総務課																																
	項	01 消防費																																						
	目	03 消防施設費																																						
	事業	03 消防水利等整備事業																																						
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		国庫支出金	府支出金	市債	繰入金	その他	一般財源																																
					11,100			4,100																																
目的・趣旨	消火栓は、火災における有効確実な消防水利として、迅速かつ的確な消防活動を行うことができるため、計画的に更新整備を図るとともに、突発的な移設や撤去にも対応する。 また、老朽化した消火栓ホース格納箱など消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。		主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債）				11,100																																
事業概要	○需用費 500千円		○備品購入費（消火栓備品） 3,000千円																																					
	・修繕料（消火栓・防火水槽修繕） ○工事請負費 11,700千円 ・消火栓設置工事（13基）																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>設置</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新設</td> <td>地上式</td> <td>0基</td> </tr> <tr> <td>移設</td> <td>地上式</td> <td>5基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上水道工事に伴う更新</td> <td>地下式</td> <td>2基</td> </tr> <tr> <td>地上式</td> <td>1基</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">道路改修に伴う更新</td> <td>地下式</td> <td>5基</td> </tr> <tr> <td>地上式</td> <td>0基</td> </tr> </tbody> </table>		区分	設置	数量	新設	地上式	0基	移設	地上式	5基	上水道工事に伴う更新	地下式	2基	地上式	1基	道路改修に伴う更新	地下式	5基	地上式	0基	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>屋外型ホース格納箱（スチール製）</td> <td>100台</td> </tr> <tr> <td>屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）</td> <td>100台</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース65mm</td> <td>100本</td> </tr> <tr> <td>消火栓用ホース40mm</td> <td>5本</td> </tr> <tr> <td>管そう（ストレートノズル）</td> <td>40本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地上式用）</td> <td>10本</td> </tr> <tr> <td>消火栓開閉ハンドル（地下式用）</td> <td>10本</td> </tr> <tr> <td>スタンドパイプ（地下式用）</td> <td>20本</td> </tr> </tbody> </table>		品名	数量	屋外型ホース格納箱（スチール製）	100台	屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	100台	消火栓用ホース65mm	100本	消火栓用ホース40mm	5本	管そう（ストレートノズル）	40本	消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本	消火栓開閉ハンドル（地下式用）	10本	スタンドパイプ（地下式用）
区分	設置	数量																																						
新設	地上式	0基																																						
移設	地上式	5基																																						
上水道工事に伴う更新	地下式	2基																																						
	地上式	1基																																						
道路改修に伴う更新	地下式	5基																																						
	地上式	0基																																						
品名	数量																																							
屋外型ホース格納箱（スチール製）	100台																																							
屋外型ホース格納箱用架台（スチール製）	100台																																							
消火栓用ホース65mm	100本																																							
消火栓用ホース40mm	5本																																							
管そう（ストレートノズル）	40本																																							
消火栓開閉ハンドル（地上式用）	10本																																							
消火栓開閉ハンドル（地下式用）	10本																																							
スタンドパイプ（地下式用）	20本																																							

予算科目	款	09 消防費	本年度予算額 2,634千円	前年度予算額 1,927千円	増減額		参考R4決算額		部	消防本部
	項	01 消防費			707千円		2,055千円			
	目	03 消防施設費							課	総務課
	事業	50 消防施設一般経費			国庫支出金	府支出金	市債	繰入金		
総合計画 計画項目	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実									2,634
目的・趣旨	消防活動を円滑に行うため、消防資機材及び車庫等の維持管理を行う。		主な財源							
事業概要	○需用費 ・光熱水費（小西川可動堰等電気代） ・修繕料（消防車庫修繕） ○役務費 ・消防無線再免許申請手数料 ○使用料及び賃借料 ・デジタル簡易無線局電波利用料		2,483千円 78千円 2,405千円 2千円 149千円							